

皆さんの“声”を市政に

平成22年度

市長と語る対話集会

を開催しました



意見を傾聴する工藤市長

市長と語る対話集会は、「あなたが市長だったらまちづくりをどう進めるか」という視点から、市長が各会場で市政に対する皆さんからの意見・提言をお聴きし、できることから市政に反映させることを目的として開催しているものです。ここでは、皆さんから寄せられた意見・提言のうち、いくつかを紹介いたします。

意見・提言とその回答 (抜粋)

市政運営の基本方針

市政運営の基本方針としている「ハードからソフトへ」「行政主導から市民主導へ」とは、具体的にはどのようなことなのか。

ハードからソフトとは、箱物行政からの転換をいいます。新しい施設を作ることなく、既存の施設を有意義に活用しながら、子供たちの教育や市民の文化レベルなどを引き上げていこうということになります。

また、行政主導から市民主導とは、市民の皆さんの意見を聞き、市政に反映させていくことです。例えば、現在、策定を進めている第5次総合振興計画では、今までにない取り組みとして、市民の方に参加していただき、議論を積み重ね、それを反映させていきます。

ヘルメットの購入補助を

児童・生徒の交通事故が相次いでいる中、学校単位でヘルメット着用の動きがあるが、市でヘルメット購入のために補助をしてもらえないか。

児童のヘルメット着用に関する市内小

学校の対応は、学校ごとに違うようであり、新たに全児童に通学時のヘルメット着用を進めている学校もあれば、自転車運転時のみ着用するよう指導している学校もあります。

一方で、「小学校低学年ではヘルメットをしっかりと着ることができず、顔の前に下がってしまうことがあり、視界が狭まりかえって危険である」、「通気性が悪いいため、夏場は暑く健康上、不向きである」などの意見が保護者から寄せら

参加状況

回	開催日	場所	対象	参加者(人)	うち公募市民(人)
1	5月29日(土)	VIVA ぎょうだ	子育て中の女性	11	11
2	6月26日(土)	太田公民館	長野・太田地区	39	2
3	7月 2日(金)	須加公民館	荒木・須加地区	32	6
4	7月16日(金)	北河原公民館	北河原・南河原地区	25	7
5	7月24日(土)	持田公民館	持田・太井地区	29	3
6	7月28日(水)	星宮公民館	星河・星宮地区	25	2
7	8月 3日(火)	忍・行田公民館	忍・行田地区	27	2
8	8月26日(木)	佐間公民館	佐間地区	14	5
9	8月28日(土)	下忍公民館	埼玉・下忍地区	18	1
10	8月29日(日)	みらい	保育所・幼稚園保護者	44	44
11	9月 4日(土)	VIVA ぎょうだ	小学校PTA	38	38
合計				302	121

※平成21年度は9回開催、出席者は257人